

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 34

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
例 会 日 毎週月曜日 12:30~
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06 (6772) 2320
FAX. 06 (6772) 2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会 長 浅 野 光 男
会 長 エ レ ク ト 岩 崎 史 郎
副 会 長 鈴 木 勝 俊
幹 事 小 川 高 弘
会 報 委 員 長 大 石 忠 克

Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

第 1847 回例会 平成 24 年 4 月 16 日 (月曜日) 第 34 号

本日の例会

4月16日(月)第3例会

- ◎ソング 「限りなき道ロータリー」
- ◎卓 話 「メンズファッション流れと時代背景」
(担当:清水興一郎会員)
- ◎本日の献立 てんぷら定食

次回の例会

4月23日(月)第4例会

- ◎卓 話 ゲストスピーカー
「ハンガーゼロアフリカ
—東アフリカの干ばつの緊急支援を通して考える—
日本国際飢餓対策機構 常務理事 清家弘久様
(担当:瀧田浩彦会員)

♪本日の献立 フランス料理

前回の例会記録

4月9日(月)第2例会

[東大阪西RC・東大阪中央RC合同例会]

会長挨拶

会長 浅野光男

今年は例年になく長い冬でしたが、ようやく桜が満開に咲きほころぶ時期がやって参りました。昨日の日曜日は天気も良く桜見物にお出かけになったのではないのでしょうか。

本日は、東大阪西ロータリークラブの会員の皆様方との親睦合同例会であります。スポンサークラブが同じと言う事もありまして以前から非常に仲良くさせて頂いておりますが、近頃の会員減少につきましては双方のクラブ共々同じ悩みがあり、相談の場を設ける為の合同例会を開催する事に成ったと聞き及んでおります。より一層の親睦の輪を広げる良い機会でもありますので今後も末長く続けて行け

る事を願っております。お時間の許すかぎりごゆっくりとご歓談戴きたいと存じます。

今年2月開催されました我クラブの創立40周年記念事業と致しまして、東大阪吉原公園への桜苗木20本の植樹祭を行いました。近況報告で写真をとって参りました。まだまだ小さな苗木ですが先端には立派な花が咲いており力強さが感じとれました。非常に残念な事は、既に3本が幹から折られており、桜の苗木自身も悲しい思いをしているのではないのでしょうか。5年前からの地域社会奉仕活動におきまして続けております桜苗木植樹祭合計33本は回覧の写真のごとく毎年立派な花を咲かせておりました事をご報告させて頂き戴きます。

幹事報告

幹事 小川高弘

1. 日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内を回覧致します。詳細は事務局までお訊ねください。
2. 例会時間の変更のお知らせを掲示しています。

出席報告

大石委員長

本日の会員数	37名
本日の出席者数	31名
本日の出席規定適用免除会員	12名
本日の出席率	93.94%
3月26日の修正出席率	100%

SAAニコニコ箱報告

和田副SAA

東大阪西RC会長 藤原史嗣様 合同例会開催を祝して。
幹事 出口孝明様 合同例会を祝して。
浅野会長 東大阪西ロータリー様、合同例会参加ありがと

うございます。瀧田会員ご退院おめでとうございます。

- 小川幹事 東大阪西ローリークラブ様をお迎えして。
瀧田会員 16日間の入院から下番しました。皆様の気遣いに感謝!!
宮田会員 今日の卓話、宜しくお願ひします。
宮崎会員 4月19日献血よろしくお願ひ申し上げます。
鈴木会員 合同例会を祝して。
三木会員 合同例会を祝して。
岩崎会員 大熊様、尾崎様ご入会をお祝ひして。
細川会員 新しい友が出来ました。

委員会報告

会員増強委員会

委員長 細川勝治

今年度は今のところ2名の方が新規入会されることになりました。前回の例会では、尾崎会員のご子息の尾崎元様の入会式が行われました。今後とも引き続き会員増強に力を尽くして参りますので、皆様の一層のご協力を賜りたいと存じます。

社会奉仕委員会

委員長 宮崎康治

当クラブ社会奉仕事業の1つと致しまして下記にて第17回献血運動を実施致します。皆様のご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

社員、ご家族の方々に、当クラブの呼びかけを是非お伝え下さい。当クラブと致しましては、各会員に社員や関係者の方々から5名ずつ位のご協力をして頂ければと考えております。パンフレットを用意しております。地域、社内等に掲示お願ひ致します。

記

日時 2012年4月19日(木)
午前10時～午後4時30分
(お昼休憩は致しません)
場所 近鉄 布施駅北側 バスロータリー

卓話

「献血の輪の中に」

—若年層献血の啓発と血液の支援について—

大阪府赤十字血液センター 献血部長 小川敏彦様

平素は、献血事業へのご理解とご協力を賜り誠に有り難く感謝申し上げます。大阪府におきましては、平成19年度以降、年々献血協力者数が増加傾向にあり、平成22年度におきましても410,410人の協力をいただくことができ、府内で必要とされます輸血用血液も概ね確保することができました。

しかしながら、府内で輸血のために使用された血液の量は年々増加傾向にあり、昨年度は1,462,073単位(前年度比100.1%)の血液を各医療機関へお届けいたしました。今後、高齢化と医療技術の進歩によりまして血液の使用量は

さらに増加していくものと考えられます。

一方、献血協力者数におきましては、少子化などの影響によって今後16年後には全国で約100万人の献血協力者が減少するとの推計値も出されていることから、今後も献血基盤となる若年者層の献血啓発が最も重要なテーマだと位置づけしております。

既に、全国の血液センターでは、献血適齢年齢に満たない小学生、中学生の年代から血液、献血の知識を持ってもらおうとのことから、学校単位での出前講座として「献血セミナー」を各地で開催しております。

大阪府においても、平成6年から府内の小学生を対象とした血液センター見学会「献血おもしろゼミナール」を毎年開催しており、昨年7月に開催された当ゼミナールには同伴者を含め1,200人以上の皆さんにご参加いただきました。

この見学会では、マンガを使用したスライドを用いて血液センターの仕事や概要および献血や血液についての概要を分かり易く説明した後、施設内と献血バスや血液運搬車などの見学をしていただいております。子供さん方も初めての体験に興味津々の光景を見ることが出来ます。

今後は、府内の小中学校、更には高等学校へも積極的に出向いたうえで若年者層への献血の啓発に努めてまいりたいと考えております。

本日、お集まりの東大阪中央ロータリークラブ会員の皆様におかれましても、出前講座の開催につきましてご支援とご協力を賜れば幸いです。

最後に、昨年3月11日に発生いたしました「東日本大震災」の際には、地震発生の翌日から大阪を中心として全国の血液センターから東京都を経由して東北地方へ献血の支援を行いました。

具体的には、血小板製剤を2,350人分、赤血球製剤は3,500人分を5月15日までの間にお届けいたしました。震災からもうすぐ1年目を迎えるようしておりますが、被災地は完全な復興には至っておらず今後も相当な年月が必要ではないと言われております。

このような状況の中、宮城県内では震災前にご協力いただいていた企業や地域団体においては、大きな被害を受けたことで献血協力者を募ることが不可能な状況が続いていることから、県内で必要とされる輸血用血液の確保が困難な事態が起きています。

この事から、赤十字では改めて血液の支援を再開することを決め、大阪府からも1月末からO型の赤血球製剤を毎週50単位直接お届けしているところでもあります。

重ねてお願いになりますが、宮城県への血液支援を含めた今後更なる献血へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日は、例会の貴重なお時間をお借りして卓話をさせていただく機会を頂きましたことに心から御礼申し上げます。